



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年2月4日

上場会社名 田辺三菱製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4508 URL https://www.mt-pharma.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津家 正之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 高井 善章 TEL 06-6205-5211  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	297,414	△10.5	24,187	△56.5	24,984	△55.7	24,605	△56.5	15,308	△59.7
2019年3月期第3四半期	332,479	△2.0	55,574	△20.3	56,446	△17.6	56,565	△19.5	38,010	△23.0

(参考) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	18,223	△56.1	11,631	△73.1	32.50	32.49
2019年3月期第3四半期	41,468	△20.4	43,245	△33.4	73.95	73.95

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	1,077,547	890,716	878,095	81.5	1,565.83
2019年3月期	1,056,286	910,332	897,604	85.0	1,600.64

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2020年3月期	—	28.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	376,000	△11.5	10,000	△82.1	11,500	△77.1	12,000	△76.2	4,000	△87.6	5,000	△86.6

基本的1株当たり当期利益 通期 8.92円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	561,417,916株	2019年3月期	561,417,916株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	633,695株	2019年3月期	640,305株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	560,781,818株	2019年3月期3Q	560,776,653株

(注) 当社は、取締役等に対する業績連動型株式報酬に係る信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式(2020年3月期3Q末：200,279株、2019年3月期3Q末：208,655株、2019年3月期末：208,655株)は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法について)

- ・決算補足説明資料は添付資料「3. 補足資料」として掲載しています。
- ・当社は、2020年2月4日(火)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会(電話会議)を開催する予定です。説明内容については、プレゼンテーション資料を本資料発表と同時に、また音声配信を説明会終了後速やかに、当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結損益計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(重要な後発事象)	12
3. 補足資料	14
(1) 2019年度第3四半期(2019年4月～12月)連結決算について	14
(2) 新製品開発状況について	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日~12月31日)の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上収益	332,479	297,414	△35,065	△10.5%
コア営業利益	55,574	24,187	△31,387	△56.5%
営業利益	56,446	24,984	△31,462	△55.7%
税引前四半期利益	56,565	24,605	△31,960	△56.5%
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	41,468	18,223	△23,245	△56.1%

## 【売上収益】

売上収益は、前年同期比△10.5%、350億円減収の2,974億円となりました。

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
医薬品事業	332,479	297,414	△35,065	△10.5%
国内医療用医薬品	229,264	239,646	+10,382	+4.5%
海外医療用医薬品	41,953	37,520	△4,433	△10.6%
ロイヤリティ収入等	54,979	13,614	△41,365	△75.2%
一般用医薬品	3,209	3,305	+96	+3.0%
その他	3,074	3,329	+255	+8.3%

- ・国内医療用医薬品は、2019年10月の薬価改定の影響はあったものの、関節リウマチなどの治療剤「シンボニー」、2型糖尿病治療剤である3剤「テネリア」、「カナグル」、「カナリア」が順調に伸長したことに加え、2018年12月に投薬制限が解除されたアレルギー性疾患治療剤「ルパフィン」の増収、2018年7月よりヤンセンファーマ株式会社との販売枠組みを変更したクローン病などの治療剤「ステララ」の寄与などにより重点品が伸長し、前年同期比4.5%増収の2,396億円となりました。
- ・ロイヤリティ収入等は、Novartis Pharma AG(以下「ノバルティス社」)に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」やJanssen Pharmaceuticals, Inc.(以下「ヤンセンファーマシューティカルズ社」)に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入の減少などにより前年同期比75.2%減収の136億円となりました。

「ジレニア ロイヤリティ」収入に関しては、2019年2月に、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため「ジレニア ロイヤリティ」の一部について、IFRS第15号に従い売上収益の認識を行わないこととしました。当第3四半期連結累計期間におきましても、仲裁手続きが継続しているため、売上収益の認識を行わない結果、減収となりました。当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。なお、「ジレニア ロイヤリティ」について売上収益の認識を行わない部分につきましては、仲裁最終時に、その結果に応じて一括して収益認識されることとなります。

## 【コア営業利益(※)・営業利益】

コア営業利益は、前年同期比△56.5%、313億円減益の241億円となりました。

国内重点品は伸長したものの、長期収載品やロイヤリティ収入の減収に加え、前期より引き続き高水準の研究開発費を投じていることから、減益となりました。

営業利益は、前年同期比△55.7%、314億円減益の249億円となりました。

※当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下、非経常項目）を除外したものです。非経常項目として、事業譲渡による損益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等を想定しております。

#### 【税引前四半期利益・親会社の所有者に帰属する四半期利益】

税引前四半期利益は、前年同期比△56.5%、319億円減益の246億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比△56.1%、232億円減益の182億円となりました。

#### 【研究開発活動】

当第3四半期連結累計期間における研究開発費は575億円となり、売上収益に対する比率は19.4%となりました。当第3四半期連結累計期間の主な臨床開発活動の進捗状況は、以下のとおりです。

#### 承認取得

- ・ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニストMP-214（一般名：カリプラジン）に関し、統合失調症の適応症について、2019年7月にシンガポールおよびタイで承認を取得しました。
- ・フリーラジカル消去剤MCI-186（一般名：エダラボン／米国製品名：ラジカヴァ）に関し、筋萎縮性側索硬化症（Amyotrophic lateral sclerosis：ALS）の適応症について、2019年7月に中国で承認を取得しました。
- ・選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤TAU-284（一般名：ベポタスチン／製品名：タリオン）に関し、成人および7歳以上の小児におけるアレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴う痒痒（湿疹・皮膚炎、痒痒、皮膚痒痒症）の適応症について、2019年12月にタイで承認を取得しました。

#### 承認申請

- ・フリーラジカル消去剤MCI-186に関し、ALSの適応症について、2019年4月に中国およびアジアで申請しました。
- ・低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤MT-6548（一般名：バダデュスタット）に関し、腎性貧血の適応症について、2019年7月に日本で申請しました。
- ・DPP-4阻害剤MP-513（一般名：テネリグリプチン／製品名：テネリア）に関し、2型糖尿病の適応症について、2019年9月に中国で申請しました。
- ・植物由来VLPワクチンMT-2271に関し、季節性インフルエンザの予防（成人）の適応症について、2019年9月にカナダで申請しました。

#### 臨床試験の開始（第2相臨床試験以降）

- ・持続皮下注投与ポンプ製剤ND0612（一般名：レボドパ／カルビドパ）に関し、パーキンソン病を対象としたグローバル第3相臨床試験を、2019年8月に開始しました。
- ・フリーラジカル消去剤MT-1186（一般名：エダラボン（経口懸濁剤））に関し、ALSを対象としたグローバル第3相臨床試験を、2019年11月に開始しました。

#### 導出品の状況

- ・カルシウム受容体作動剤MT-4580（一般名：エボカルセト／製品名：オルケディア）に関し、副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症の適応症について、導出先の協和キリン株式会社が2019年4月に日本で申請し、同年12月に承認を取得しました。また、二次性副甲状腺機能亢進症を対象とした第3相臨床試験を、協和キリン株式会社が2019年5月に中国およびアジアで開始しました。
- ・SGLT2阻害剤TA-7284（一般名：カナグリフロジン／米国製品名：インヴォカナ）に関し、糖尿病性腎症の適応症について、導出先のヤンセンファーマシューティカルズ社が2019年9月に米国で承認を取得、2019年7月に欧州で申請しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 【財政状態計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年3月末)	当第3四半期 連結会計期間末 (2019年12月末)	増減
非流動資産	467,853	473,614	+5,761
流動資産	588,433	603,933	+15,500
資産合計	1,056,286	1,077,547	+21,261
負債	145,954	186,831	+40,877
資本	910,332	890,716	△19,616
負債及び資本合計	1,056,286	1,077,547	+21,261

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比212億円増加の1兆775億円となりました。前期末からの主な変動要因は以下のとおりです。

- ・非流動資産は、IFRS第16号「リース」の適用などに伴う有形固定資産の増加や、国内上場株式の公正価値評価によるその他の金融資産の減少、年金資産の公正価値評価による退職給付に係る資産の増加などにより、前期末比57億円増加の4,736億円となりました。
- ・流動資産は、営業債権の増加や、その他の流動資産の増加、法人所得税や配当金の支払などによる現金及び現金同等物の減少などにより、前期末比155億円増加の6,039億円となりました。
- ・負債は、IFRS第16号「リース」の適用に伴うその他の金融負債の増加や、その他の非流動負債の増加、営業債務の増加などにより、前期末比408億円増加の1,868億円となりました。
- ・資本は、剰余金の配当や国内上場株式等の金融資産の公正価値評価などの減少要因が、四半期利益の計上などの増加要因を上回り、前期末比196億円減少の8,907億円となりました。

## 【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業キャッシュ・フロー	29,468	32,292	+2,824
投資キャッシュ・フロー	△20,093	△10,382	+9,711
財務キャッシュ・フロー	△27,905	△35,726	△7,821
現金・現金同等物増減額	△17,844	△14,283	+3,561
現金・現金同等物期首残高	127,030	111,850	△15,180
現金・現金同等物四半期末残高	109,186	97,657	△11,529

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは142億円の支出となり、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は976億円となりました。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益の計上などの収入要因が、法人所得税の支払などの支出要因を上回り、322億円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、手元資金の運用や設備投資などにより、103億円の支出となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、357億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表した通期業績予想は変更していません。

なお、当社の親会社である株式会社三菱ケミカルホールディングスは、2019年11月19日より実施しております当社の普通株式を対象とする公開買付けの結果、当社の特別支配株主となっております。

当社は、2020年1月17日付けで本社より当社普通株式に係る株式売渡請求を行う旨の通知を受領し、同日開催の取締役会において本売渡請求を承認する旨の決議をいたしました。本売渡請求の承認により、当社普通株式は株式会社東京証券取引所の上場廃止基準に該当することになり、2020年2月27日をもって上場廃止となる予定です。

詳細は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)」に記載しております。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上収益	332,479	297,414
売上原価	139,201	143,065
売上総利益	193,278	154,349
販売費及び一般管理費	73,181	71,279
研究開発費	61,906	57,554
製品に係る無形資産償却費	2,201	1,871
その他の収益	1,309	2,506
その他の費用	779	1,173
持分法による投資損益 (△は損失)	△74	6
営業利益	56,446	24,984
金融収益	984	903
金融費用	865	1,282
税引前四半期利益	56,565	24,605
法人所得税	18,555	9,297
四半期利益	38,010	15,308
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	41,468	18,223
非支配持分	△3,458	△2,915
四半期利益	38,010	15,308
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	73.95	32.50
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	73.95	32.49

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期利益	38,010	15,308
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公 正価値の純変動	2,408	△4,492
確定給付制度の再測定	△2,212	2,633
純損益に振り替えられることのない項目合計	196	△1,859
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,048	△1,854
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対す る持分	△9	36
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5,039	△1,818
税引後その他の包括利益合計	5,235	△3,677
四半期包括利益	43,245	11,631
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	46,923	14,425
非支配持分	△3,678	△2,794
四半期包括利益	43,245	11,631

## (3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	73,338	83,782
のれん	91,640	90,234
無形資産	206,918	209,071
持分法で会計処理されている投資	16,294	16,149
その他の金融資産	46,245	39,230
退職給付に係る資産	21,474	24,779
その他の非流動資産	257	416
繰延税金資産	11,687	9,953
非流動資産合計	467,853	473,614
流動資産		
棚卸資産	75,559	72,935
営業債権	116,951	132,523
その他の金融資産	271,432	271,679
その他の流動資産	11,011	23,357
現金及び現金同等物	111,850	97,657
小計	586,803	598,151
売却目的で保有する資産	1,630	5,782
流動資産合計	588,433	603,933
資産合計	1,056,286	1,077,547

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
借入金	150	1,920
その他の金融負債	2,151	9,565
退職給付に係る負債	629	602
引当金	6,975	6,613
その他の非流動負債	5,116	30,298
繰延税金負債	39,234	37,590
非流動負債合計	54,255	86,588
流動負債		
借入金	45	16
営業債務	31,477	41,070
その他の金融負債	27,032	32,153
未払法人所得税	9,576	1,400
引当金	1,638	3,472
その他の流動負債	21,682	21,684
小計	91,450	99,795
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	249	448
流動負債合計	91,699	100,243
負債合計	145,954	186,831
資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	451,253	448,704
自己株式	△1,040	△1,022
利益剰余金	387,964	377,592
その他の資本の構成要素	9,427	2,821
親会社の所有者に帰属する持分合計	897,604	878,095
非支配持分	12,728	12,621
資本合計	910,332	890,716
負債及び資本合計	1,056,286	1,077,547

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動
2018年4月1日残高	50,000	451,228	△1,045	382,122	△13,194	13,717
四半期利益	—	—	—	41,468	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	5,268	2,408
四半期包括利益合計	—	—	—	41,468	5,268	2,408
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
自己株式の処分	—	△7	6	—	—	—
配当金	—	—	—	△31,403	—	—
株式報酬取引	—	34	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△1,581	—	△631
所有者による抛及及び所有者への配分合計	—	27	5	△32,984	—	△631
新株の発行	—	—	—	—	—	—
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	27	5	△32,984	—	△631
2018年12月31日残高	50,000	451,255	△1,040	390,606	△7,926	15,494

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再測定	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2018年4月1日残高	—	△20	503	882,808	12,019	894,827
四半期利益	—	—	—	41,468	△3,458	38,010
その他の包括利益	△2,212	△9	5,455	5,455	△220	5,235
四半期包括利益合計	△2,212	△9	5,455	46,923	△3,678	43,245
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△31,403	△278	△31,681
株式報酬取引	—	—	—	34	—	34
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	2,212	—	1,581	—	—	—
所有者による抛及及び所有者への配分合計	2,212	—	1,581	△31,371	△278	△31,649
新株の発行	—	—	—	—	4,076	4,076
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	4,076	4,076
所有者との取引額合計	2,212	—	1,581	△31,371	3,798	△27,573
2018年12月31日残高	—	△29	7,539	898,360	12,139	910,499

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動
2019年4月1日残高	50,000	451,253	△1,040	387,964	△7,771	17,234
四半期利益	—	—	—	18,223	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,975	△4,492
四半期包括利益合計	—	—	—	18,223	△1,975	△4,492
自己株式の取得	—	—	△4	—	—	—
自己株式の処分	—	△23	22	—	—	—
配当金	—	—	—	△31,403	—	—
株式報酬取引	—	9	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	2,808	—	△175
所有者による抛及及び所有者への配分合計	—	△14	18	△28,595	—	△175
新株の発行	—	—	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	△2,535	—	—	—	—
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	△2,535	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△2,549	18	△28,595	—	△175
2019年12月31日残高	50,000	448,704	△1,022	377,592	△9,746	12,567

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再測定	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2019年4月1日残高	—	△36	9,427	897,604	12,728	910,332
四半期利益	—	—	—	18,223	△2,915	15,308
その他の包括利益	2,633	36	△3,798	△3,798	121	△3,677
四半期包括利益合計	2,633	36	△3,798	14,425	△2,794	11,631
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△31,403	△135	△31,538
株式報酬取引	—	—	—	9	—	9
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△2,633	—	△2,808	—	—	—
所有者による抛及及び所有者への配分合計	△2,633	—	△2,808	△31,399	△135	△31,534
新株の発行	—	—	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	△2,535	2,822	287
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	△2,535	2,822	287
所有者との取引額合計	△2,633	—	△2,808	△33,934	2,687	△31,247
2019年12月31日残高	—	—	2,821	878,095	12,621	890,716

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	56,565	24,605
減価償却費及び償却費	8,640	11,292
減損損失戻入益	—	△1,720
受取利息及び受取配当金	△982	△903
持分法による投資損益(△は益)	74	△6
営業債権の増減額(△は増加)	△17,039	△15,339
棚卸資産の増減額(△は増加)	16,048	2,254
営業債務の増減額(△は減少)	2,804	9,940
引当金の増減額(△は減少)	△446	1,434
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	150	484
その他	△3,558	21,539
(小計)	62,256	53,580
利息の受取額	407	364
配当金の受取額	675	545
利息の支払額	△179	△175
法人所得税の支払額	△33,691	△22,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,468	32,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,447	△5,000
定期預金の払戻による収入	4,945	613
有形固定資産の取得による支出	△4,050	△9,854
有形固定資産の売却による収入	69	1,574
無形資産の取得による支出	△3,225	△2,807
投資の取得による支出	△321,169	△341,253
投資の売却及び償還による収入	304,759	345,783
子会社の売却による収入	—	1,065
その他	25	△503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,093	△10,382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,752
リース負債の返済による支出	△81	△5,897
非支配株主からの払込による収入	4,076	—
配当金の支払額	△31,403	△31,403
その他	△497	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,905	△35,726
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	686	△467
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,844	△14,283
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	90
現金及び現金同等物の期首残高	127,030	111,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	109,186	97,657

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、各四半期における法人所得税費用は、年間の見積実効税率に基づいて算定しております。

当社グループは、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、以下の基準書を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号 リース	<p>リースの取り扱いに関する会計処理および開示方法についての改訂を定めたものであります。</p> <p>主に、単一モデルとして、リース期間が12ヶ月を超える全ての借手のリースについて、原則としてその資産の使用権と支払に伴う債務を財務諸表に反映することを求めています。</p>

IFRS第16号を適用することにより、当社グループのリース関連の資産が10,570百万円増加し、同時にリース負債が10,570百万円増加しております。なお、使用権資産は有形固定資産に、リース負債はその他の金融負債（非流動および流動）に含めて表示しております。

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しておりますが、本基準の適用開始日における累積的影響額はありません。

## (重要な後発事象)

当社に対する公開買付けの結果及び株式売渡請求の承認

2020年1月8日付け「支配株主である株式会社三菱ケミカルホールディングスによる当社株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、株式会社三菱ケミカルホールディングス（以下、「三菱ケミカルホールディングス」という。）は、2019年11月19日から2020年1月7日までを買付け等の期間とする当社の普通株式（以下、「当社普通株式」という。）に対する公開買付け（以下、「本公開買付け」という。）を行い、その結果、本公開買付けの決済の開始日である2020年1月15日をもって、当社普通株式513,675,239株（議決権所有割合（注）91.57%）を所有するに至り、当社の会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含む。以下同じ。）に定める特別支配株主（以下、「特別支配株主」という。）となっております。

三菱ケミカルホールディングスは、同社が当社の総株主の議決権の90%以上を所有するに至ったことから、2019年11月18日に当社が公表した「支配株主である株式会社三菱ケミカルホールディングスによる当社株式に対する公開買付けに係る意見表明及び応募推奨に関するお知らせ」の「3. 当該公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由」の「(5) 本公開買付け後の組織再編等の方針（いわゆる二段階買収に関する事項）」に記載のとおり、当社普通株式の全て（三菱ケミカルホールディングスが所有する当社普通株式および当社が所有する自己株式を除く。）を取得し、当社を三菱ケミカルホールディングスの完全子会社とすることを目的とした取引の一環として、会社法第179条第1項に基づき、当社の株主の全員（三菱ケミカルホールディングスおよび当社を除く。）に対し、その所有する当社普通株式の全部を三菱ケミカルホールディングスに売り渡すことの請求（以下、「本売渡請求」という。）を行うことを2020年1月17日に決定し、当社は、同日付けで三菱ケミカルホールディングスより本売渡請求に係る通知を受領し、同日開催の取締役会において本売渡請求を承認する旨の決議をいたしました。

また、本売渡請求の承認により、当社普通株式は株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」という。）の上場廃止基準に該当することとなり、2020年1月17日から2020年2月26日まで整理銘柄に指定された後、2020年2月27日をもって上場廃止となる予定です。上場廃止後は、当社普通株式を東京証券取引所市場第一部において取引することはできなくなります。

(注) 「議決権所有割合」とは、当社が2019年10月30日に公表した2020年3月期第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）（以下「当社2020年3月期第2四半期決算短信」という。）に記載された2019年9月30日現在の当社の発行済株式総数（561,417,916株）から、当社2020年3月期第2四半期決算短信に記載された2019年9月30日現在の当社が保有する自己株式数（ただし、同日現在において役員報酬BIP（Board Incentive Plan）信託が保有する当社普通株式200,279株を除く。）（431,636株）を控除した当社普通株式数（560,986,280株）に係る議決権数（5,609,862個）に占める割合（小数点以下第三位を四捨五入）をいいます。以下同じです。

## (1) 特別支配株主の概要

① 名称	株式会社三菱ケミカルホールディングス	
② 所在地	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号	
③ 代表者の役職・氏名	代表執行役 執行役社長 越智 仁	
④ 事業内容	グループ会社の経営管理（グループの全体戦略策定、資源配分など）	
⑤ 資本金	50,000百万円（2019年6月25日現在）	
⑥ 設立年月日	2005年10月3日	
⑦ 大株主及び持株比率 (2019年3月31日現在)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7.27%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	5.78%
	明治安田生命保険相互会社（常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社）	4.52%
	日本生命保険相互会社（常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社）	2.99%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	1.99%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	1.81%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口7）	1.80%
	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT（常任代理人 香港上海銀行東京支店 カस्टディ業務部）	1.51%
	株式会社三菱UFJ銀行	1.44%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234（常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部）	1.44%	

⑧ 当社と三菱ケミカルホールディングスの関係	
資本関係	三菱ケミカルホールディングスは、2020年1月17日現在、当社普通株式513,675,239株（議決権所有割合：91.57%）を保有しております。
人的関係	当社の取締役8名のうち3名がその他三菱ケミカルホールディングスグループ各社（注）の出身であり、そのうち1名については現在も三菱ケミカルホールディングスの完全子会社における取締役としての地位を有しており、また、残りの取締役5名のうち1名が三菱ケミカルホールディングスにおける執行役員および三菱ケミカルホールディングスの完全子会社における取締役としての地位を有しております。また、当社の監査役のうち1名がその他三菱ケミカルホールディングスグループ各社の出身です。上記のほか、当社グループの従業員63名がその他三菱ケミカルホールディングスグループ各社に出向しており、その他三菱ケミカルホールディングスグループ各社の従業員8名が当社グループに出向しています。
取引関係	当社は、三菱ケミカルホールディングスに対し、資金の寄託を行っており、利息を受領しております。
関連当事者への該当状況	三菱ケミカルホールディングスは、当社の親会社であり、当社の関連当事者に該当します。

（注）「その他三菱ケミカルホールディングスグループ各社」とは、三菱ケミカルホールディングスグループを構成する会社のうち当社グループを構成する会社以外の各会社を総称していいいます。また、「三菱ケミカルホールディングスグループ」とは、持株会社である三菱ケミカルホールディングスならびにその子会社552社および関連会社169社（2019年9月30日現在）をいい、「当社グループ」とは、当社ならびにその子会社33社および持分法適用会社1社（2019年9月30日現在）をいいいます。

#### （2）本売渡請求の日程

売渡請求日	2020年1月17日（金曜日）
当社取締役会決議日	2020年1月17日（金曜日）
売買最終日	2020年2月26日（水曜日）
上場廃止日	2020年2月27日（木曜日）
取得日	2020年3月2日（月曜日）

#### （3）売渡対価

普通株式1株につき、2,010円

## 3. 補足資料

(1) 2019年度第3四半期(2019年4月～12月)連結決算について  
損益状況

(単位:億円、億円未満切り捨て)

	当第3四半期	前年同期比較			予想比較		主なポイント (前年同期比較)
		前第3四半期	増減額	増減率%	通期予想(注1)	進捗率%	
売上収益	2,974	3,324	350	10.5	3,760	79.1	P15「主要製品売上収益」参照
国内	2,472	2,364	108	4.6	3,083	80.2	
海外	501	960	459	47.8	676	74.1	
海外売上比率	16.9%	28.9%			18.0%		
売上原価	1,430	1,392	38	2.8	1,785	80.1	ロイヤリティ収入の減少等による売上原価率上昇
売上原価率	48.1%	41.9%			47.5%		
売上総利益	1,543	1,932	389	20.1	1,975	78.2	
販管費	705	731	26	3.6	990	71.3	業務生産性改革の推進などによる減少
販管費比率	23.7%	22.0%			26.3%		
研究開発費	575	619	43	7.0	855	67.3	
研究開発費比率	19.4%	18.6%			22.7%		
製品に係る無形資産償却費	18	22	3	15.0	25	74.8	
その他損益(注2)	1	4	2	-	5	-	
コア営業利益	241	555	313	56.5	100	241.9	
非経常項目(注2)	7	8	0	8.6	15	53.1	
営業利益	249	564	314	55.7	115	217.3	
金融収益	9	9	0	8.2	-	-	
受取利息・受取配当金	9	9	0	8.0	-	-	
その他	-	0	0	-	-	-	
金融費用	12	8	4	48.2	-	-	
支払利息	1	1	0	48.7	-	-	
為替差損	8	6	2	35.4	-	-	
その他	2	1	1	114.0	-	-	
税引前四半期利益	246	565	319	56.5	120	205.0	
法人所得税	92	185	92	49.9	-	-	
四半期利益	153	380	227	59.7	40	382.7	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	182	414	232	56.1	50	364.5	
総人件費	563	541	22	4.1	745	75.7	

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度通期業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

(単位:円)

為替レート	当第3四半期 平均レート	前第3四半期 平均レート	2019年度 計画レート
米ドル	108.89	111.33	110.00
カナダドル	82.14	84.87	85.00
ユーロ	121.12	129.25	125.00

\* 当第3四半期において、為替レートの変動により、売上収益で約 16億円、コア営業利益で約 +12億円の影響がありました。

## 主要製品売上収益

(単位:億円、億円未満切り捨て)

	当第3四半期	前年同期比較			予想比較	
		前第3四半期	増減額	増減率%	通期予想(注1)	進捗率%
国内医療用医薬品	2,396	2,292	103	4.5	2,981	80.4
レミケード	424	459	34	7.5	515	82.4
シンボニー	316	287	29	10.2	422	75.1
ステララ	203	104	99	94.9	216	94.0
テネリア	120	111	9	8.4	150	80.2
カナグル	65	50	15	31.2	104	63.3
カナリア	55	53	1	2.4	72	76.4
クレメジン	52	52	0	0.2	83	62.7
レクサプロ	116	107	8	8.3	147	78.6
セレジスト	60	71	10	15.2	85	70.8
ルパフィン	41	9	32	334.8	75	55.3
タリオン	33	41	7	18.7	54	61.8
ワクチン	329	304	24	8.0	362	90.8
インフルエンザ	124	95	28	30.4	107	115.4
テトラビック	70	64	6	9.5	100	70.5
水痘ワクチン	37	39	1	3.8	51	73.0
海外医療用医薬品	375	419	44	10.6	496	75.5
ラジカヴァ	173	206	32	15.9	220	78.8
ヘルベッサ	51	50	0	0.9	72	70.2
シンボニー	16	14	1	8.3	20	76.5
アルガトロバン	14	15	1	7.4	17	80.0
タナトリル	10	12	1	12.1	16	66.6
ロイヤリティ収入等	136	549	413	75.2	192	70.7
ジレニア ロイヤリティ(注2)	46	446	400	89.6	非開示	-
インヴォカナ ロイヤリティ	64	81	16	20.7	非開示	-
一般用医薬品	33	32	0	3.0	43	76.5
その他(注3)	33	30	2	8.3	46	72.3
売上収益合計	2,974	3,324	350	10.5	3,760	79.1

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度通期業績予想数値

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 四半期業績推移(損益計算書)

(単位:億円、億円未満切り捨て)

	2018年度					2019年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	通期予想 (注1)
売上収益	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 26.1%	899 23.9%	1,093 29.1%	3,760 100.0%
国内	741 24.1%	723 23.5%	899 29.2%	713 23.2%	3,077 100.0%	807 26.2%	738 24.0%	926 30.0%	3,083 100.0%
海外	311 26.6%	320 27.4%	328 28.1%	209 17.9%	1,170 100.0%	173 25.6%	161 23.8%	166 24.7%	676 100.0%
売上原価	423	437	530	414	1,806	447	437	545	1,785
売上原価率	40.2%	42.0%	43.2%	44.9%	42.5%	45.6%	48.6%	49.9%	47.5%
売上総利益	630 25.8%	605 24.8%	697 28.6%	508 20.8%	2,441 100.0%	533 27.0%	462 23.4%	547 27.7%	1,975 100.0%
販管費	231 23.6%	245 25.0%	254 25.9%	250 25.5%	982 100.0%	229 23.2%	238 24.1%	237 24.0%	990 100.0%
研究開発費	196 22.7%	199 23.0%	223 25.8%	246 28.5%	865 100.0%	199 23.3%	198 23.2%	177 20.8%	855 100.0%
製品に係る無形 資産償却費	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	29 100.0%	6 25.9%	6 24.3%	6 24.6%	25 100.0%
その他損益(注2)	1 -	1 -	1 -	1 -	5 -	0 -	0 -	1 -	5 -
コア営業利益	193 34.6%	151 27.2%	210 37.7%	2 0.5%	558 100.0%	97 97.5%	19 19.5%	124 124.9%	100 100.0%
営業利益	193 38.4%	151 30.2%	219 43.6%	61 12.2%	503 100.0%	96 83.7%	29 25.6%	124 108.0%	115 100.0%
税引前(四半期)利益	197 39.1%	150 29.9%	217 43.1%	61 12.1%	504 100.0%	92 76.7%	29 24.5%	124 103.8%	120 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	139 37.4%	110 29.5%	164 44.1%	40 11.0%	373 100.0%	68 137.6%	14 28.7%	99 198.1%	50 100.0%

\* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度通期業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に 表示しております。

## 四半期業績推移(主要製品売上収益)

(単位:億円、億円未満切り捨て)

	2018年度					2019年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	716 24.0%	699 23.4%	876 29.3%	695 23.3%	2,987 100.0%	781 26.2%	710 23.8%	904 30.3%	2,981 100.0%
レミケード	151 25.7%	148 25.2%	160 27.2%	128 21.9%	588 100.0%	144 28.0%	131 25.5%	148 28.8%	515 100.0%
シンボニー	90 24.0%	95 25.4%	102 27.3%	87 23.3%	374 100.0%	105 24.9%	99 23.5%	112 26.6%	422 100.0%
ステララ	2 1.4%	45 30.0%	56 37.3%	47 31.3%	152 100.0%	61 28.6%	63 29.5%	77 35.9%	216 100.0%
テネリア	44 29.5%	27 18.0%	39 25.8%	40 26.7%	152 100.0%	47 31.2%	33 22.5%	40 26.5%	150 100.0%
カナグル	14 22.2%	15 22.9%	19 29.4%	17 25.5%	67 100.0%	21 20.7%	19 18.6%	24 23.9%	104 100.0%
カナリア	14 19.1%	16 22.3%	23 31.1%	20 27.5%	74 100.0%	22 30.5%	15 21.5%	17 24.3%	72 100.0%
クレメジン	17 25.5%	16 24.9%	18 27.6%	14 22.0%	66 100.0%	17 21.0%	16 19.3%	18 22.4%	83 100.0%
レクサプロ	34 24.4%	34 24.4%	38 27.8%	32 23.4%	140 100.0%	38 26.3%	35 24.1%	41 28.2%	147 100.0%
セレジスト	24 27.7%	22 24.6%	24 27.4%	18 20.3%	89 100.0%	21 25.4%	17 19.9%	21 25.5%	85 100.0%
ルバフィン	1 5.0%	2 6.1%	5 16.7%	24 72.2%	34 100.0%	12 16.6%	12 16.6%	16 22.2%	75 100.0%
タリオン	14 22.3%	11 17.9%	15 24.7%	22 35.1%	64 100.0%	12 22.6%	9 17.2%	12 22.0%	54 100.0%
ワクチン	88 23.7%	67 18.1%	148 39.9%	68 18.4%	373 100.0%	73 20.2%	84 23.3%	171 47.4%	362 100.0%
インフルエンザ	1 1.1%	10 10.6%	85 83.4%	7 7.0%	102 100.0%	0 0.2%	18 16.8%	106 98.8%	107 100.0%
テトラビック	22 25.7%	19 23.0%	23 26.9%	20 24.4%	85 100.0%	23 23.6%	22 21.9%	25 25.0%	100 100.0%
水痘ワクチン	14 27.7%	12 23.8%	13 25.7%	11 22.9%	51 100.0%	12 24.8%	12 23.4%	12 24.7%	51 100.0%
海外医療用医薬品	129 23.5%	145 26.3%	144 26.3%	131 23.9%	551 100.0%	125 25.4%	122 24.7%	126 25.4%	496 100.0%
ラジカヴァ	64 23.7%	74 27.7%	67 25.0%	64 23.7%	270 100.0%	61 27.8%	55 25.0%	57 26.0%	220 100.0%
ヘルベッサ	16 24.4%	16 23.9%	17 24.9%	18 26.7%	68 100.0%	17 24.7%	17 23.4%	16 22.1%	72 100.0%
シンボニー	4 24.2%	5 25.0%	4 24.8%	5 26.1%	20 100.0%	5 24.5%	5 25.2%	5 26.8%	20 100.0%
アルガトロバン	5 29.4%	4 24.5%	5 26.7%	3 19.3%	19 100.0%	4 27.0%	4 27.4%	4 25.5%	17 100.0%
タナトリル	3 23.7%	4 30.7%	4 27.1%	2 18.5%	15 100.0%	3 21.7%	3 21.7%	3 23.2%	16 100.0%
ロイヤリティ収入等	185 29.3%	177 28.2%	186 29.6%	81 12.9%	631 100.0%	50 26.2%	41 21.6%	43 22.8%	192 100.0%
ジレニア ロイヤリティ(注2)	153 30.9%	145 29.3%	147 29.6%	50 10.2%	497 100.0%	16 -	15 -	13 -	非開示 -
インヴォカナ ロイヤリティ	24 23.6%	24 23.4%	32 30.5%	23 22.5%	105 100.0%	20 -	20 -	24 -	非開示 -
一般用医薬品	12 31.9%	9 26.4%	10 26.8%	5 14.9%	37 100.0%	12 30.0%	10 24.5%	9 22.0%	43 100.0%
その他(注3)	10 25.9%	11 28.8%	9 22.9%	8 22.4%	39 100.0%	10 22.0%	14 32.3%	8 18.0%	46 100.0%
売上収益合計	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 26.1%	899 23.9%	1,093 29.1%	3,760 100.0%

\* 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度通期業績予想数値

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## (2) 新製品開発状況について(2020年1月31日現在)

## 免疫炎症

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-5547 (ファシヌマブ)	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニ スト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(クローン病)	日本 フェーズ 2	
MT-7117	選択的メラノコルチン1受容体作動剤 (赤芽球性プロトボルフィリン症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33)モノ クローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
	(季節性アレルギー性鼻炎)	フェーズ 1	

## 糖尿病・腎

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
	(糖尿病性腎症)	欧州 申請(2019年7月)	ヤンセンファーマシューティカルズ(米) へ導出
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	日本 フェーズ 3	自社創製品
		アジア 申請	自社創製品
		中国 申請(2019年9月)	
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	欧州 フェーズ 2	アケビア(米)から導入
		日本 申請(2019年7月)	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎: NASH)	日本 フェーズ 2	

アジア: 日本・中国を除く

## 中枢神経

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	アジア 申請	自社創製品
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	ゲデオンリヒター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエンス(米) から導入
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-0551 (イネピリズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (視神経脊髄炎関連疾患: NMOSD)	日本、アジア フェーズ 3	ビエラ・バイオ(米)から導入
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/ 経口懸濁剤)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-8554	TRPM8遮断剤 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	グローバル フェーズ 2	
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	フェーズ 1	自社創製品
MT-6345	神経系用剤	フェーズ 1	宇部興産(日)と共同開発
MT-3921	抗RGMa抗体 (脊髄損傷)	フェーズ 1	大阪大学(日)と共同開発

## ワクチン

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	カナダ 申請(2019年9月)	メディカゴ(カナダ)品
		米国、欧州 フェーズ 3	
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	米国、欧州 フェーズ 3	
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品

アジア: 日本・中国を除く

## その他

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TAU-284 タリオン (ペボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー 性疾患治療剤 (アレルギー性鼻炎、蕁麻疹)	アジア 申請	宇部興産(日)から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (二次性副甲状腺機能亢進症)	中国、アジア フェーズ3	協和キリン(日)へ導出
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ1	自社創製品
MT-8633/TR1801-ADC	抗c-Met抗体薬物複合体 (固形がん)	フェーズ1	自社創製品 Open Innovation Partners(日)と協業

アジア:日本・中国を除く

## 2019年度第2四半期決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2020年1月31日 現在	起源/導出先等
TAU-284 タリオン (ペボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー 性疾患治療剤 (成人および小児 <sup>*1</sup> におけるアレルギー・性鼻 炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴う痒痒 <sup>*2</sup> )	アジア 申請	タイ 承認(2019年12月)	宇部興産(日)から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルゼト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能 亢進症における高カルシウム血症)	日本 申請(2019年4月)	日本 承認(2019年12月)	協和キリン(日)へ導出
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	フェーズ1	グローバル フェーズ3	自社創製品

\*1: 7歳以上 \*2: 湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚痒痒症

アジア: 日本・中国を除く